

く り たぢから ひょう
庫理遺跡は花巻市田力にあり、市役所から北東に約 5km、標
こう う がん けいせい ていぼう りっ ち
高約 176 ～ 178m の北上川右岸に形成された自然堤防上に立地
しています。

ほじょうせいび じぎょう ともな まいぞうぶん かざい
本遺跡は 97 年に圃場整備事業に伴い県埋蔵文化財センター
が、また 98 年には砂利採取に先立ち、花巻市教育委員会がそ
れぞれ発掘調査を行いました。その結果、遺構は縄文時代の陥
いこう じょうもん おと
し穴 1 基、平安時代(約 1,200 ～ 1,100 年前)の竪穴建物跡 18
き へいあん たてあなたてものあと
棟や時期不明の土坑 10 基、焼土 9 基などが見つかりました。
とう どうこう しょうど
遺物は、土師器や須恵器などの他に金属製品や縄文土器、石器
いぶつ はじき すえき きんぞく せつき
も数点出土しています。出土した土師器と須恵器の中には、墨
ぼくしょ
で文字が書かれた墨書土器 15 点(「和」や「福」など)、さら
とが きざ こくしょ
にヘラや先の尖った道具で記号などを刻んだ刻書土器が 5 点見
みずどり
つかりました。刻書土器の 4 点には水鳥がエサをついばもうと
えが
する姿が描かれており、市内では初めての出土例となりました。
かんけい ちょうけいへい
この他に、建物跡の床下から完形の長頸瓶 3 点が 1 ヶ所でまと

まって出土してお
ぎしき
り、特別な儀式な
しせつ ゆう
どをする施設を有
した遺跡かもしれ
ません。



調査区全景 (1998 年調査)